男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動紹介

第１回南砺市男女共同参画推進審議会

平成３０年１月２５日（木）午前１０時～　　福野庁舎２０１会議室

■推進員設置の目的は？

○推進員の主体的な活動を通じて、男女共同参画社会の実現を目的としています。

■推進員設置の役割は？

(1) 男女共同参画推進プランの推進に関する啓発普及を図ること。
(2) 男女が共に協力して実施する地域活動を推進し、社会活動への参画意識を高揚すること。
(3) 男女共同参画に関する行政施策の推進等に協力すること。
(4) 男女共同参画に関する各種の相談等に対して、専門機関等を紹介すること。

■推進員って何人いるの？

○南砺市内　７４人　（任期２年：H28.4.1～H30.3.31）
→各地域の自治振興会からの推薦、団体推薦、公募

地域	人数	男性	女性	推薦団体
城端	10	5	5	自治振興会推薦10人
平	4	2	2	自治振興会推薦4人
上平	4	1	3	自治振興会推薦4人
利賀	4	1	3	自治振興会推薦4人
井波	10	6	4	自治振興会推薦8人／団体推薦2人
井口	4	2	2	自治振興会推薦4人
福野	15	8	7	自治振興会推薦14人／団体推薦1人
福光	23	10	12	自治振興会推薦22人／公募1人
合　計	74	36	38	自治振興会推薦70人／団体推薦3人／公募1人

■推進員さんの活動

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

７４人推進員全体の研修会、講演会などの啓発活動を行っています。

①推進員全体研修会（富山県主催２回／年、市主催２回／年）やフォーラムの開催

②男女共同参画啓発劇団「なんとファミリー劇団」による市内巡業

③ 「男女共同参画の視点から避難所運営を考えよう」防災マニュアルの発行・普及活動

④ 「男女共同参画カルタ」による啓発活動

⑤市内の各種行事やイベントに参加し啓発活動

⑥毎年度テーマを決めて活動（H28～２９は「イクボス推進」）

■８地域に分かれた支部活動

地域で開催される集会や各種行事において様々な工夫を凝らし地域に密着した草の根活動を行っています。

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

①推進員全体研修会　（富山県主催２回／年、市主催２回／年）

→様々な研修会を通じ男女共同参画社会について学び、知識や技術の向上に努めています。

	テーマ	講師
27 県	ファザーリング全国フォーラムinとやま 「イクボスが増えれば社会が変わる。富山県に笑顔のイクボスを」	パネルディスカッション 安藤哲也氏他４名
27 市	「みんなでつくる　安心してすごせる避難所 ～男女共同参画の視点で～」	青森県男女共同参画センター副館長 小山内　世喜子氏
28 県	男女が協業しやすい社会のために ～「居場所」のない男、「時間」のない女～	詩人・社会学者　水無田気流氏
28 市	①「男女共同参画の視点から避難所運営について考えよう」 ②「笑って考える男女共同参画の基本」	①南砺市連絡会　前副代表　笠野裕美氏 ②魚津市職員　吉田健一氏
28 市	イクボス研修会（商工会、となみ青年会議所合同開催） 「イクボスが社会を変える ～上司が変われば、働き方が変わる～」	ＮＰＯ法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー／代表理事　安藤哲也氏
29 県	「男性学の視点から男女共同参画を考える」	社会学者　田中俊之氏
29 市	「イクボスのススメ」	魚津市職員　吉田健一氏
29 市	南砺市合同イクボス宣言式 「働き方改革は、生き方改革 ～イクボスが働きやすい職場といきいき生きる人材をつくる～」	ＮＰＯ法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー／代表理事　安藤哲也氏

①推進員全体研修会　（富山県主催２回／年、市主催２回／年）

① 男女共同参画推進フォーラムの開催

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

② 男女共同参画啓発劇団「なんとファミリー劇団」による市内巡業

→地域の枠を超え、市内全域での啓発活動を目的に、南砺市連絡会が一丸となり８支部の推進員から劇団員を募り、劇団を結成。市内各地で公演を行っています。

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

③「男女共同参画の視点から避難所運営を考えよう」

防災マニュアルの発行・普及活動

→東日本大震災において、避難所によっては、衛生用品等の生活必需品が不足したり、授乳や着替えをするための場所がなかったり、女性の身の安全を脅かすような事件や事故などが起こりうる環境であったことを推進員研修会で知ることをきっかけに、男女共同参画の視点から、防災・避難所運営を考える重要性を地域のみなさんに啓発することを目的としてマニュアルを作成しました。

女性に配慮した防災マニュアルを作った笠野さん（前）推進員たち＝南砺市役所福野庁舎で

防災に女性の視点

南砺市推進員が手引作製

東日本大震災から一年になるのを前に、南砺市男女共同参画推進員が女性の視点を取り入れた防災マニュアルを作った。県内初の取り組みで、男性中心の避難所運営で女性への配慮が置き去りになった課題を踏まえた。六日には、市に提出し「平常時からの市民の啓発に役立ててほしい」と防災計画などに生かすよう求めた。（近藤統義）

マニュアルでは、運営責任者に女性を二人以上入れる▽女性専用スペースや相談窓口を置く▽発達障害がある

する―など避難所での具体的な注意点を列記している。推進員の笠野裕美さん（さらから受け取った田中幹夫市

こせる場が大切で、活用していきたい」と応じた。

推進員たちは一昨年の研修会で、避難所で

所がなかったり、生理用品が足りなかったりと女性たちの苦悩を学んだ。

笠野さんも二〇〇四

どで保健師として避難所を訪問。「物資が十分になく、女性の運営責任者もいなかった」と、災害時に女性が弱い立場に置かれることを実感していた。

こうした被災地の実態を踏まえ、昨年七月にできた作成委員会がマニュアルの内容を検討。他県での例も参考にし、十一月まで六回の協議を重ねて完成させた。

今後は、自治振興会や避難所となる公民館などに配る。

依頼を受け、作成に協力したNPO法人

「Nプロジェクトひと・みら・まち」（高岡市）の大坪久美子理事長は「行政任せにせず、市民がNPOを活用し自らの手で作ったことが評価できる。他の市町村にも動きが広がってほしい」と話している。

③「男女共同参画の視点から避難所運営を考えよう」
　防災マニュアルの発行・普及活動

→南砺市危機防災係と共同で運営所設営の実践研修会を行いました。各地域の自治振興会長さん方も、会場へ足を運んでくださいました。

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

④「男女共同参画カルタ」による啓発活動

→福光支部が作成した「男女共同参画カルタ」を、南砺市全域での普及啓発活動のツールとして活用し、行事やイベント時に参加された市民の方々に配布。

　A１サイズは「大型カルタ」として、各地域の行事などで大活躍しています。

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

⑤ 市内の各種行事やイベントに参加し啓発活動

→「社会を明るくするパレード」や「南砺市公民館祭り」などの行事やイベントに参加し、啓発活動を行っています。

⑥市内の各種行事やイベントに参加し啓発活動

■男女共同参画推進員南砺市連絡会の活動

⑥ 毎年度、テーマを決めて活動

→平成２８～２９年度のテーマ「イクボスの推進」

市内のイクボス宣言１２事業所と南砺市長が合同でイクボス宣言式をおこないました。

■ ８地域に分かれての支部活動　①

地域で開催される集会や各種行事において様々な工夫を凝らし地域に密着した草の根活動を行っています。

城端支部

期　日　10月25日(日)

小さな頃から男女で共同作業「世代交流寄植え教室」

今年度は、世代交流を目的に「小さな頃から男女で共同作業」として寄植え教室を行いました。幼稚園児から70代のおばあちゃんまで幅広い方が参加。鉢に土と肥料を入れ、花を植えて位置を整え、協力して寄植えを仕上げました。参加されたみなさんが世代を越えて楽しそうに活動できました。このような活気ある活動を地域に広げていければと思います。

平支部

期　日　10月8日(木)

男女でともに元気な地域づくり!高齢化社会について考えました。

寝たきりや認知症など介護問題は避けて通れない地域課題。男女が力を合わせ、元気な地域であり続けるための学びとして、市政出前講座を活用し「高齢者福祉サービス」について学びました。介護が必要な方への介護保険サービスや在宅での生活支援、除雪支援・訪問理美容サービスや「ともいきカフェ」などの家族介護支援事業について理解を深めました。

■ ８地域に分かれての支部活動　②

上平支部

期　日　10月10日(土)

「男女共同参画カルタ」でアベックカルタリレー

今年も地区運動会で「男女共同参画カルタ」を活用した競技を実施。男女ペアで二人三脚、途中で男性は割烹着を着て、小麦粉が敷かれた入れ物の中から口で読み札を取り、読まれたカルタを2人で探し出してゴールするというものです。競技参加者や観覧者からも笑いが起こり、楽しみながらの啓発活動となりました。

利賀支部

期　日　12月19日(土)

育ジイも「料理」やちゃ!

利賀老人クラブ連合会の男性の方を対象に料理教室を開催。米のとぎ方をはじめ、肉じゃがやおひたしなど簡単に作れるものについて計量スプーンの使い方・火加減などを交えてアドバイスしました。最後にブリの解体ショーがあり、鮮やかな手さばきに感動。男女ともに料理や食育について感心を持つことはとても重要だと感じました。

■ ８地域に分かれての支部活動 ③

井口支部

期　日　6月14日(日)

パパ・ママと一緒に「親子和菓子づくり体験教室」

小学校育成会と協力し、親子で和菓子づくり体験をしました。お母さんだけでなくお父さんも大勢参加され、色とりどりの和菓子づくりに挑戦。形や大きさがバラバラになったりしつつも皆さん出来ばえには満足された様子で、楽しく会食し美味しくいただきました。これを機会にお父さんも一緒にお菓子や料理をしたりすることが増えればと思います。

福野支部

期　日　9月～11月

「男女共同参画」の俳句とカルタを活用して

福野支部内の7地区の文化祭で、男女共同参画推進員が製作した日頃の何気ない生活の一場面から感じられる男女共同参画の言葉が並ぶ俳句と大型カルタを展示。今年は、理解をさらに深めてもらうためにカルタの内容をポケットティッシュに入れて5千個配布し普及啓発を行いました。

■ ８地域に分かれての支部活動　④

井波支部

期　日　11月30日(日)

老若男女の「そば打ち体験教室」

はじめに「男女共同参画社会」についての話を聞いた後、講師指導のもと3班に分かれてそば打ちを行いました。途中苦戦した場面もありましたが、男女が互いに協力して出来た打ちたてのそばの味は格別。参加者からは「同じ太さに切るのがちょっと難しかった」、「男女（とも）にソバ（側）がいいね」などの声が聞かれ、楽しく盛り上がりました。

福光支部

期　日　12月6日(日)

寸劇による「家庭内での男女共同参画」について啓発活動

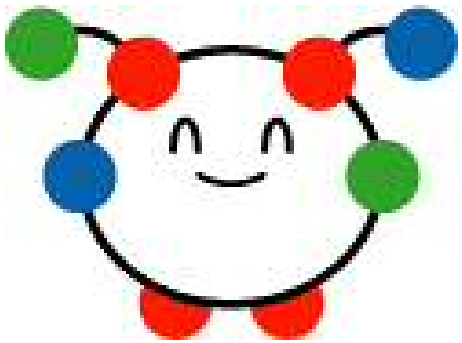
5月頃から年末開催の福光歳末芸能チャリティーショーでの寸劇出演を目標に、シナリオ制作から本番まで支部推進員21名全員参加で啓発･PR活動に取り組みました。

寸劇のテーマは「家事は誰がする･･･最初の一歩」。家事を全くしない夫に業を煮やす妻の様子や「家事の男女共同参画」について地区で話し合う場面などを通して男女の協調に向けた意識が高まるという内容で好評のうちに公演を迎えることができました。

キーワードは、

「は」を「も」に！

男女共同参画推進員さんとともに男女共同参画社会の実現を目指しています。



ご清聴ありがとうございました。